

親切運動の取り組みについて

上市町立相ノ木小学校

児童数 122名

1 親切運動の取組の紹介

「あいさつ運動」

- ・ 主な取組について

本校ではかつて、教師と児童の人間関係が崩れがちになる時期があった。そこで人と人の基本的な関係づくりは挨拶からと考え、あいさつ運動を展開した。

現在では、全校児童が登下校時に職員室に立ち寄り、「おはようございます」「さようなら」と気軽に声をかけ、教師と挨拶を交わすことが習慣化している。

また、児童会を中心としたあいさつ運動では、自作の旗を掲げたり、全校から挨拶ボランティアを募ったりしながら、挨拶の輪を広げている。

- ・ 成果や課題について

地域からも児童の挨拶をほめてくださる声を耳にする機会が多くなった。活動が形骸化することなく、挨拶の意味を感じながら続けるよう働きかけたい。

「グループホーム逢の希訪問」

- ・ 主な取組について

5年生の総合的な学習の時間は福祉をテーマとしている。その一環として地域にあるグループホームの訪問を平成12年度から続けている。

合唱等、日頃の学習成果を披露するだけでなく、お年寄りの願い事を一緒に書いたり、七夕飾りを協力して竹に結んだりしている。

- ・ 成果や課題について

ささやかなふれあいだが、お年寄りのみなさんが楽しみにしている活動となっている。これまでには児童が育てた花鉢を喜んでいただいた年もあり、継続的な関わりがつかれるよう工夫したい。



2 親切運動に取り組んで

- ・ 取組の成果

他者への思いやりを育むことは、自分の心を豊かに穏やかにすることにつながる。これらの活動を通して、児童が穏やかに落ち着いて生活できる学校となっている。

- ・ 課題と今後に向けて

これらの活動のよさや成果を広め、さらに活動の輪を広げる働きかけが必要である。例えば、全校放送や集会等の機会を通じて児童に知らせ、温かな心根を育てていきたい。